

平成30年度第1回登別市教育委員会会議録

日 時 平成30年4月25日（水）午後4時30分

場 所 ホテル平安

第1回 教育委員会議事日程

1 日 時 平成30年4月25日(木)午後4時30分

2 場 所 ホテル平安

3 議 案

報告第1号 教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理について

報告第2号 教職員人事の内申に係る臨時代理について

議案第1号 小学校及び中学校における事務主幹の命課基準等の廃止について

4 情報提供

(1) 平成29年度学校運営協議会実施状況について

(2) 平成30年度登別市小中学校「校長会」「教頭会」三役について

(3) 平成30年4月10日時点度登別市立学校児童生徒数・学級数調書について

(4) 平成30年度登別市立学校主要行事等予定一覧について

(5) 平成30年度学校施設等の工事事業計画について

(6) 登別市小中学校英語教育推進プログラムについて

(7) 登別市ウォーキングマップについて

(8) こいのぼりマラソンの申し込み状況について

(9) 第3次登別市子ども読書活動推進計画の策定について

(10) 登別市立図書館のめざすものの策定について

(11) 移動図書館車こぐま号の更新について

5 出席者

(教育委員会5名)

教育長 武田 博 委 員 垣内 登紀子

委 員 森口 達 委 員 赤井 秀輝

委 員 堅田 裕

(事務局9名)

教育部長 佐藤 史彦 教育部参与 野崎 均

教育部次長 橋場 太 総務部グループ建築主幹 出口 利美

学校教育グループ総括主幹 舘下 貴子

学校教育グループ学務主幹 小野島 晶

社会教育グループ総括主幹 安部 直也

学校給食センター長 吉田 富士夫

図書館長 綿貫 亨

○武田教育長　それでは、本日の委員会は5名全員が出席されておりますので、有効に成立していることをご報告します。これより平成30年度第1回教育委員会を開催します。本日の議事は報告2件、議案1件になります。それでは、早速議事に入ります。報告第1号「教育委員会事務局職員の人事異動発令に係る臨時代理について」事務局から説明をお願いします。

○橋場教育部次長　議案書1ページになります。平成30年4月1日付けの事務局職員の人事異動について、2ページのとおり臨時代理を行いましたので報告を行い、承認を求めるものであります。3ページをご覧くださいと思います。上段が入ってきた方、下段が出ていかれた方、左側が新所属、右側が旧所属となっています。まず、入ってきた方ですが、主幹職では、館下総括主幹が総務部財政グループから学校教育グループに、吉田センター長が市民生活部税務グループ税務主幹から学校給食センターに異動となっております。主査職では、重山主査が保健福祉部高齢・介護グループから社会教育グループに、それから平塚主査は今までの職名の他に総務部市史編さんグループ主査が併任となりました。担当員では、渡辺担当員が都市整備部建築住宅グループから総務グループに、下國担当員が保健福祉部国民健康保険グループから学校教育グループに、片岸担当員が総務部人事・行政管理グループから学校教育グループに、小野担当員が保健福祉部国民健康保険グループから社会教育グループに異動となっております。

次に出て行かれた方ですが、田中総括主幹が市民生活部次長に昇任となっております。合わせて選挙管理委員会事務局長の職務も併任となっております。それから市民生活部には社会教育グループにおりました中沢担当員と学校教育グループにおりました工藤担当員が税務グループに異動となっております。また、観光経済部には社会教育グループにおりました蓬田主査と学校教育グループにおりました高橋担当員が観光振興グループに異動となっております。都市整備部には総務グループにおりました佐藤担当員が建築住宅グループに異動となりました。

教育部全体の配置は4ページからの名簿を見ていただければと思います。正職員の人数につきましては、29年度と変わっておりません。

嘱託職員につきましては、学校教育グループの学校司書1名が期限付きの教諭となったため3名体制となっております。そのため現在、募集の事務を進めてい

るところです。情報推進専門員の成田さんは新規の任用です。鷺別小学校の技術員は今年度から新たにスタートした言語指導教室の嘱託員になります。ベテランの須藤さんは昨年度まで幌別小学校におりましたが、鷺別に移動させ、日向さんを新規で任用し2名体制となっています。幌別小学校の方も能登さんがベテランで端さんが新規任用となっております。次のページの社会教育グループになります。生涯学習推進専門員に安宅先生、青少年センターの青少年支援員に松本先生、森先生は教育支援専門員から専任指導員への職種替えを行っております。図書館はこぐま号が新しくなっておりますが、今まで道南バスへの委託により運行していましたが、今年度からは市嘱託員により運行ということになりました。運転手には小西さんを新規で任用しています。次のページ、教育支援推進専門員の森先生の後任に中山先生となっています。以上の内容になります。これらについて臨時代理を行いましたので、承認をお願いしたいと思います。

○**武田教育長** ただ今報告第1号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○**武田教育長** それでは報告第1号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**武田教育長** それでは報告第1号については、承認いたします。次に報告第2号「教職員人事の内申に係る臨時代理の報告について」事務局から説明をお願いします。

○**館下学校教育グループ総括主幹** 報告第2号教職員人事に係る臨時代理の報告についてご説明いたします。追加議案書の1ページになります。平成30年5月1日付けで学校職員の人事異動が行われるため教育長に対する事務委任規則第3条第1項の規定により臨時に代理いたしましたので同条第2項の規定により報告し承認を求めるものです。追加議案の1・2ページが議案関係、3ページが異動調書となっております。異動の内容についてでございますけれども管内の他市町において教頭が欠員することとなり、本市に教頭昇任候補者の登録をされていた教諭がいたため5月1日付けで昇任を伴った異動をするものであります。なお、当該

所属先校長とも協議済みであり、補充のための期限付き教員につきましても5月1日付けで採用予定であることを申し添えます。以上報告させていただきますので、承認のほどよろしく願いいたします。

○**武田教育長** 　ただ今報告第2号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり。）

○**武田教育長** 　それでは、報告第2号については、承認することとしてよろしいでしょうか。教頭登録をされていた先生が承認の機会を得たということで。

○**赤井委員** 　何日付ですか。

○**武田教育長** 　5月1日付けです。よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○**武田教育長** 　それでは、報告第2号については、承認いたします。次に議案第1号「小学校及び中学校における事務主幹の命課基準等の廃止について」を議題といたします。事務局から説明をお願いします。

○**館下学校教育グループ総括主幹** 　議案第1号小学校及び中学校における事務主幹の命課基準等の廃止についてご説明いたします。議案書は7ページになります。小学校及び中学校における事務主幹、小学校及び中学校における事務主任、登別市学校給食センターにおける専門員、これら3職種につきましては道費負担職員ではありますが、サービスの所管は市町村教育委員会にあることから道教委等の通知等に基づき必要に応じて規則等を整備しているところです。これまで事務職員等の配置及び職名に関しましては市学校管理規則で、その細則は命課基準で定めており、ともに教育委員会に諮り法規文書又は令達文書として対応していたところです。しかしながら細則等である命課基準につきましては、市民に広く周知すべき事項とは異なり内規的な位置付けであることから、平成30年4月1日から令達文書によらない方式に改めたうえで、新たな基準を作成したものであります。このことに伴い現行の命課基準は不必要となったことから廃止するものであります。なお、新基準と現行基準が重複する部分につきましては実際に不都合が無い旨申し添えます。承認のほどよろしく願いします。

○武田教育長 　ただ今議案第1号について説明がありました。ご質疑ございませんか。

（「ありません」の声あり）

○武田教育長 　それでは、議案第1号については、承認することとしてよろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長 　それでは、議案第1号については承認します。以上で本日の議事は全て終了しましたが、その他、事務局から情報提供などありましたらお願いします。

【情報提供案件】

○野崎教育部参与 　はい。平成29年度の学校運営協議会の実施状況について情報提供いたします。お手元の資料のA3版3枚のものをご覧いただければと思います。各学校におきましては、年間3回、多いところでは、若草小学校で5回、登別小学校で4回学校運営協議会を開催していただきました。議題につきましては、学校の経営方針について承認をいただくほか、各教育活動の説明や実施状況、学校評価の結果などを通して、学校の運営状況をお知らせするとともに、土曜授業の計画や、学力・体力の向上、放課後学習の充実、あいさつの励行、いじめ・不登校への対応、道德教育の取組、地域との避難訓練の状況、地域行事の参加や伝統芸能の継承、地域交通安全の取組のお願いですとか生活習慣改善に関わる理解についてなど、話し合う内容は多岐にわたっております。「地域と学校の連携体制がさらに出来上がってきている」という意見や、「子どもたちと関わることで成長を見ることができ」、「挨拶を交わすことができる関係ができてうれしい」という感想を引き続きいただいているところでございます。また、登別小学校と登別中学校のほかに、29年度から幌別西小学校と西陵中学校も小中学校合同で協議会を始めていただいております。また、他の中学校区でも地域の子どもを9年間で育てていく方向性というものを出している地区も見られてきております。これらの様子を各学校に情報提供してもらったものを、市役所本庁舎や市民会館、図書館で市民の方に見てもらおうようにするとともに、今年度の取組も随時情報発信してもらおうよう各学校をお願いをしております、「地域とともにある

学校づくり」がさらに進むよう働きかけていきたいと委員会としては思っております。以上でございます。

○橋場次長 はい。「校長会」「教頭会」三役について、4ページに載せておりますので、ご覧いただければと思います。

○館下総括主幹 私からは資料5ページと6ページになります。まず5ページの平成30年度児童生徒数・学級数です。4月10日現在小学校につきましては児童数が2,140人、前年同期比で47人の減となり、2クラス相当になります。そのうち特別支援につきましては67人、前年同期比9人減となっており、ほぼ卒業生と新生の児童数の差となっております。学級数につきましては、普通学級は85クラスで増減がありませんでしたが、特別支援学級は幌別西小学校での在籍児童卒業による肢体不自由クラスの閉設、鷺別小における情緒学級児童数の減少に伴うクラス数の減により計2クラスの減となりました。教職員数につきましては、新たに外国語巡回教諭や鷺別小学校の言語指導通級教室の開設に伴う加配職員数の配置などがありましたが、特別支援学級数の減やその他の加配教員の減などにより結果的には172.5人となり前年比2人の減となっております。次に中学校についてですけれど、生徒数が1,091人、前年同期比37人の減で1クラス相当になります。うち特別支援につきましては、32人で前年比で3人の増となっております。学級数につきましては普通学級が1クラス減、特別支援学級は増減がありませんでした。普通学級数の増減は緑陽中学校のみで全学年において増減があったのですが、結果1クラスの減となりました。教員数につきましては95人となり、クラス数の減や加配教員の減により前年比で3人の減となっております。児童生徒数合計では3,231人となり、前年同期比で84人の減となっております。

次に6ページは、平成30年度各学校の主要行事等の一覧です。各学校の始業式、終業式は記載のとおりです。小学校の運動会は6月9日が5校、6月16日が3校となっております。小学校の修学旅行につきましては、登別小学校が8月下旬、ほかの7校が9月中に実施し、道南函館方面へ行く予定となっております。中学校につきましては、すべての中学校が5月に東北方面へ行く予定です。土曜授業につきましては、今年度は幌別中、幌別小、幌別東小がそれぞれ6回、緑陽中、富岸小が5回、残りの8校が4回実施となっております。また、記念行事といたしまして、9月に鷺別小学校の新校舎落成記念式典を予定しており、現在準備を進めているところです。なお、家族の時間づくりプロジェクトにつきましては、5年を区切

りとして平成29年度をもって終了いたしました。プレ実施として行っておりました温泉の日帰り入浴につきましては、保護者が仕事を休まなくても利用できることから今年度も継続できるよう温泉旅館組合等の関係機関と協議して参ります。以上でございます。

○出口総務グループ建築主幹 はい。私の方からは、今年度の学校施設等の工事事業計画について情報提供いたします。まず、小学校です。耐震改修工事が2校ありまして、富岸小学校と幌別西小学校を予定しております。富岸小学校は、校舎耐震改修・大規模改造（外壁）工事が7月から来年1月まで、校舎大規模改造（防水）工事は7月から来年1月までを予定しております。次に幌別西小学校です。耐震改修工事を2か年継続工事で予定しておりまして、7月から32年1月まで、それと大規模改造（外壁）工事は7月から12月まで、暖房用の地下タンクFRPライニング工事が8月から11月。それからキュービクル更新工事、これは電気設備になります。8月から11月までを予定しております。次に登別小学校になります。遊具取り換え工事、鉄棒の取り換えになります。7月から9月を予定しております。続きまして驚別中学校です。防球ネット張替え工事と防球フェンス設置校が7月から9月を予定しております。幌別中学校は地下タンクFRPライニング工事を8月から11月を予定しております。次に社会教育施設です。市民プール機械室にあります防火戸の改修工事が6月から7月までを予定しております。その他の委託ですが、富岸小学校と幌別西小学校の耐震改修工事に伴いまして管理委託を予定しております。それから登別小学校につきましては来年度耐震改修工事を予定しておりまして、その実施設計の委託でございます。7月から来年3月までとなっております。以上でございます。

○小野島学校教育グループ学務主幹 登別市小中学校英語教育推進プログラムについて情報提供いたします。今年度より、新学習指導要領の完全実施に向けた移行期間に入りましたが、特に小学校においては、外国語教育の充実が一つの柱となっており、その対応を進めていくこととなります。本市では、平成2年からALTを配置し早期から外国語教育に取り組んでおり、平成26年にはこれまでの取組を整理し、今後の教育の動向も加味した「登別市小中学校英語教育推進プログラム」を策定しました。別冊でお配りしているものが、改訂される学習指導要領の内容と、本市で取り組んできた外国語教育の実績や今後の方向性を整理した修正版になります。これを学校に配布し、4月より先生方と理念を共有しながら外国語教育を進めていただいております。ここでは、小学校1年生から中学校3年

生までの9年間を見通した外国語教育の在り方を基本に、本市として育成を目指す児童・生徒の姿を定め、そのために身に付けるべき力を明らかにしております。加えて、ALTの活用や学級担任の役割といった授業づくりに関わること等、子どもたちにとってよりよい外国語教育となるよう、何をどのように取り組んでいくとよいかを示す羅針盤として、指導の拠り所となるよう意図しております。なお本市では、今年度4月より、特に小学校の先生方の指導力・英語力の底上げを図るべく、道教委の小学校外国語活動巡回指導教員研修事業に取り組んでおります。幌別小学校の板垣教諭を巡回指導教員に位置付け、本市8校を1年掛けて巡回し、先生方全員の力量向上につながるよう、効果的な活用を進めてまいる考えです。今後の外国語教育に係る進捗状況につきましては、機会をとらえて教育委員会にて情報提供いたします。以上です。

○安部社会教育グループ総括主幹 はい。社会教育グループからは2点情報提供がございます。まず1点目は、登別市健康ウォーキングマップについてでございます。資料はマップが配布されていると思います。これまでウォーキングマップにつきましては、平成22年度から24年度まで社会教育グループの方で実施しておりました「きらり健康ふれあいウォーキング」の事業を実施していた際に作成したものを継続して使用しておりましたけれども、その時に9種類作成していましたが、そのマップの一部の在庫が無くなってきたということで平成29年度に予算措置をしまして、これまでのマップをベースにリニューアルしたものでございます。これまでは9地区に分割して、9種類のマップがあったのですが、これを地続きにしまして1枚にまとめた形になっております。また、いま市民自治推進委員会の方で統一したテーマとして「健康」を取り上げて各部会の方で検討をしているのですが、その中で都市調和部会の方でマップを作成するという動きが同時にありまして、社会教育グループの方と協働で作成しようということになりまして、会議で意見を頂きながら作成をしました。また、この表紙につきましては工学院のデザイン科の生徒さんにデザインしていただいたものであります。部数の方は4,500部印刷をしておりますして公共施設の方に設置をしております。今後は近いうちにホームページの方にも掲載をしたいと思っております。是非多くの方に利用していただきたいと思っております。

2点目につきましては、登別こいのぼりマラソンについてでございます。今年度は第43回目ということで5月13日の日曜日に開催を予定しております。エントリーの方は締め切りをしておりますして、814エントリーで908名の参加予定と

なっております。昨年度は941名の参加者ですので、ほぼ昨年度並みとなっております。当日申し込みとなっている幼児の参加がありますので、総数にすると1,000名以上の参加になっていると思います。それで協賛の方は毎年野口観光の方から特別協賛ということで大口で頂いているのですが、今回は山地不動産からも創立30周年ということで市内のいろいろな実行委員会などでイベントなどに取り組んでいる団体に協賛したいということで、こいのぼりマラソンの実行委員会の方にも話がありまして30万円の特別協賛を頂いております。その用途につきましては、いままで無かったランナーへの応援看板ですとか、ゴールテープの作成ですとか、2020年市制施行50年もありますし、東京オリンピック・パラリンピックの開催もありますので、2020年にはこいのぼりマラソンのコースの延長ですとか、いろんなことを考えておりますので、それに対しての準備資金としても使わせていただこうと実行委員会の方で考えております。山地不動産の社長もランナーとして5キロに参加するというので、社員も30名くらい参加していただけると聞いております。当日は、去年がかなり寒かったので今年は暖かい格好でお願いします。以上です。

○綿貫図書館長 はい。図書館からは3点まとめて情報提供させていただきます。はじめに、「第3次登別市子ども読書活動推進計画」の策定についてであります。29年度の第11回定例教育委員会におきまして議案第17号として承認を頂いた計画案の製本が終わりましたのでお手元にお配りしております。ご一読いただければと思います。

続きまして、「登別市立図書館のめざすもの」の策定について、こちらも同じ第11回定例教育委員会で議案第18号として承認を頂いたものであります。こちらの方もお手元にお配りしておりますのでご一読いただければと思います。

続きまして、移動図書館車こぐま号の更新についてであります。こちらは資料はございませんので口頭で説明させていただきます。29年度登別市立図書館におきましては、老朽化した移動図書館車こぐま号につきまして17年ぶりに更新する業務を行ってまいりました。室蘭信用金庫様より創立100周年の寄附事業として車両費の一部を寄附いただきまして、また、外装のデザインにつきましては日本工学院北海道専門学校さんにご協力を頂きまして、去る3月27日に市役所におきましてぬりえコンテストの表彰式と車両寄贈セレモニーが行われました。新聞等で報道されましたのでご覧になられたと思います。また、翌28日水曜日から新しいこぐま号が市内を巡回しています。以上でございます。

○武田教育長 情報提供案件の11件がすべて終わりました。この11件で何かありませんか。

○赤井委員 学校運営協議会のコミュニティ・スクールについて、前に新聞で見たときに若草小学校のソフトボール大会が学校運営協議会主催と書いていました。これはちょっとユニークだと思いました。協議会で競技をするような、どんどん活動が広がっているというか。かつてはPTA主催でソフトボールをやったり、女性の方はミニバレーをやったりしていたので、最近はそういう活動が見られなくなっていたのでいいなあと思っていました。感想ですけども。

○武田教育長 最も理想とするところです。なぜかという従前のおり学校から働きかけてやるような取組ではなくて、地域からいろんなことを広げていくと。そういう取組がまさに学校運営協議会の在り方だと。本来は私どもも、一番最初の協議会には地域の方に出させていただいて、それで情報発信も地域の方にやっていただいていたというのが本当の狙いですが、なかなかそこまではどうしても学校の先生方に頼ってしまう。教頭先生がやらなきゃならない状況が出てきてますけども、本来は地域の方々がもう少し広げて支えていくと、そういう意味では小学校には体育コーディネーター、スポーツ講演会のような体育館の開放事業をやるにあたって応援してくれるような組織もできているので、そういう組織を中心にもう少し皆さんで話し合っただけで体育交流も含めて、地域全体の取組として広げていきたいと。しかも若草に限らず今度は中学校も含めて小中でどうですかという動きがあって、我々としては感謝しております。そういう取組がもっともっと地域全体に広がって、これらかの在り方としていいのではないかと思います。ほかに何かございませんか。

○垣内委員 この健康ウォーキングマップは市民の健康増進のために効果的な役割を果たすのではないかと思います。今4,500部作成されたということで、登別市民の約10%の方の手元に届けられるのではないかと思います。公共施設に置くということでしたが、なかなか公共施設においててもそれを手にとってお持ち帰りになる方、いろんな資料なんかを含めて少ないのかなと思うのですが、何か効果的な配布というのは無いでしょうか。

- 安部総括主幹** これからも広報紙ですとか、新聞報道ですとか、そういったところに情報提供して各施設にありますとか、また、ホームページの方にも掲載して取り出せるような形というのもこれから考えておりますので対応していきたいと思えます。
- 垣内委員** ありがとうございます。配布だけではなくて、このコースすべてを皆さんで実際に歩いてみるというようなイベントもお考えでしょうか。
- 安部総括主幹** まずは在庫が無くなってきたというのでリニューアルしましょうということから始まりましたので、そのようなことも検討していきたいと思えます。
- 武田教育長** いま歩こう会のような組織というのは無いのですか。
- 安部総括主幹** ノルディックウォーキングの歩こう会ですか、愛好会はありますね。
- 武田教育長** 以前に歩こう会のような組織があったように思いますが、そこが主体になってこのぼりマラソンにも賛同してなかったですか。
- 安部総括主幹** いまは聞いたこと無いですね。走ろう会は一緒に。
- 武田教育長** 啓発としてはいろいろ作った方がいいですね。
- 垣内委員** 以前に自分も参加したことがあるのは、海岸線を歩くような、愛好会が主催したかは記憶がないのですけども。そういうようなことも事業の一環としてこれを取り入れたら面白いかな、有効的かなと思えます。
- 武田教育長** 鷲別海岸ウォークというのがあって。もう止めたのですか。
- 森口委員** ええ。
- 武田教育長** いろいろ健康づくりの機会を、これだけコースがしっかりしているのであれば、このコースをいくつか踏破したら何かをとというのがあってもいいかもしれないですね。奨励するのに。
- 赤井委員** コースの表示はお金が掛るのだけでも、そういうのは無いのでしょうか。何だかコースとか、出発点とか。
- 安部総括主幹** 実際のコースにということですね。
- 武田教育長** 道路に立てていくというのは登別の場合は難しいのかもしれませんが、例えば、川辺とか、田舎道みたいなところは目標を持って進んでいくとい

うのはいいですね。皆さんでマラソンのコースを作っている町へ行きましたよね。マラソンの標識、40数キロ。

○赤井委員 紋別です。

○武田教育長 誘客のためにコースを道路に標示していました。あまり車も通らない道でしたけども。ほかにありませんか。

○堅田委員 特別支援学級の生徒が割合が増えているような感じを受けるのですけども。診断とっていいのか分からないのですが、範囲が広がったから拾われるようになったのか。その辺は分析しているのでしょうか。

○武田教育長 分析というより特別支援教育そのものが個別の計画というか。幼児のときから計画を作って支援をしていく仕組みになって、例えば、就学前でお医者さんに相談してのぞみ園に行ったりいろんな角度で顕在してきます。その方々を対象に就学支援委員会というのを教育委員会では設けていまして、そこで精神的や学力的ないろんな検査をして振り分けをしてどうでしょうかという話になってきます。その診断の結果、具体的なものが出てくれば教育委員会がそういう就学指導という形に移行して行って、一番ハードなところは養護学校などの専門的な学校、それから次は市内の学校でという受け皿になっています。保護者の意向というか意見が非常に強いのですが。そういうことに理解をしてもらいながら行くのですが、最近の傾向としては早い段階でそういう方々が年々増えてきているというのが実態です。

○堅田委員 例えば、1歳半健診とか、3歳児健診とかでもフィルターという言い方は悪いですけども、かけっかって何段階かに分けるという形。

○武田教育長 ほとんどが家庭でみたり、或いはのぞみ園のような施設や通級指導教室のようなところへ入ってみたり、そんなことで幼児期を過ごして、入学時にしっかり判定を受けると。全国的にはどんどん広がりを見せています。診断がだんだん容認になってきたのか広がってきています。昔は限られた数でしたけども。この特別支援教育の制度ができたのが19年がスタートで今年11年目です。最初の国の考え方はすべての子どもたちを通常学級に籍を置いて、その中で特殊な学びの部分だけを教室に置こうという考え方でしたけどもなかなかそうはならないので逆に教室においてできる範囲を交流事業として通常の学級に行くと。昨

日、一昨日と学校を回りましたが通常は支援学級に入れるのですけども国語とか算数だとかは通常学級に籍をちゃんと置いて、そこで一緒に授業をやっている光景もたくさん見られました。増えてきたというのは全国的な傾向です。

○赤井委員 傾向として、親の抵抗というか、保護者の方で特別な学級に入れるということに抵抗があったのは事実です。そういう部分でいうと学校の方で説得するか委員会の方で説得するという形が多かったのですが、それがその部分の抵抗が薄れてきたというか、特別支援教育で教育を受けることが子どもにとっていいことなんだということが理解されてきたのだと思います。そういう感じを持っています。ただいま教育長が最後の方に言われてたのですが、ある部分は普通学級で一緒に勉強して、また戻ってという形の動きがかなり自由になって、先生方の免許の関係も段々と増えていって子どもに対する対応というのが良くなってきたと思います。前は結構親と学校がぶつかる部分がありました。最近はだんだんと薄れてきて良くなってきていると、これを見て私も数が多いのでびっくりしました。前は1学校に1人か2人くらいで、それが情緒、肢体不自由児、知的な部分と段々増えていっているのですけども多いなという感じを持っていました。

○武田教育長 就学支援の状況はどうですか。

○小野島学務主幹 はい。教育長もおっしゃっていましたが、就学前の幼稚園ですとか、保育所の段階で先生方だったり、保護者の方も3歳児健診でちょっと言われたり、気になっていることを相談したらやっぱりそうなのかなということがあったりして、のぞみ園ですとかそういうところに相談されたりということがあって、そして小学校に就学になって改めてどこの学級に在籍するとなったときにできるだけ困り感を共有して軽減していくという方向性で保護者の方と面談をしていきます。その中で子どものためにと思われている保護者の方もずいぶん増えている印象もあるので、そうなった場合個別の指導計画ですとか教育支援計画がありますので、それに基づいてできるだけ子どもたちの力になるように教育計画を組みながらやっていきたいと思います。ということで了解をいただいて支援学級に在籍いただいて、あとは必要に応じて通常学級の集団の中に入って一緒にやっていく。そこも支援教育の理念の一つですから共生社会というところも含めてトータルで理解していただきながら進めているというのが現状です。

- 武田教育長 よろしいですか。
- 堅田委員 はい。
- 武田教育長 折角の機会ですから何かありませんか。
- 赤井委員 先ほど英語の専門の板垣先生と名前が挙がったのですが、この方は前から登別にいた方なのですか。
- 小野島学務主幹 いえ。29年度に苫小牧から異動してきまして、もともと英語の免許、中学、高校と持っている先生ですので。授業も何回か見に行ったのですが、小学生を相手にするので楽しくやれる雰囲気を持っていないと難しいものですから。これは活躍していただけたらというのがありまして、まだ経験はあまり多くない先生ですけども、やりながら深めていくというのがいいのかなというふうに判断しました。
- 武田教育長 推薦したんですよね。
- 小野島学務主幹 はい。そうです。
- 武田教育長 小学校の英語がどんどん導入されてきて先生方の研修からいろんな指導も行っているのですが、巡回指導教員という制度ができたので、手を挙げて候補者を推進して認めてもらいました。事業が採択されたのが先になるかな。それで候補者を推薦したのか。全道で限られた人数になっています。何十人とか。そういう中の一人です。登別が該当になりました。
- 赤井委員 必要ですよ。今の段階で。
- 武田教育長 他にありませんでしょうか。
- 赤井委員 議会の年間予定というは決まっているのですか。
- 武田教育長 決まっています。
- 赤井委員 できれば、私これを見て公開研なんかも詳しく出ているので、いいなと思ったのです。あとで教えていただければ。いまインターネットで見れるので、大変勉強になるので、皆さんの活躍を。
- 武田教育長 年間スケジュールが出ていますのであとで。
- 橋場次長 今年度の都市教連の日程ですけども、まだ決定ではありませんが、情報提供いたします。8月21・22日で、今年は岩見沢ということで連絡が来ています。正式に案内が来ましたら又案内します。

○武田教育長　　よろしいでしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　　それでは、最後に5月の教育委員会の開催日について予定したいと思いますが、次回の開催日について、事務局の方で考えがあればお願いします。

○橋場次長　　5月の教育委員会につきましては、最終週の木曜日ですと31日になりますがいかがでしょうか。

○武田教育長　　それでは、事務局より提案のありました5月31日木曜日で皆様のご都合は如何でしょうか。

（「はい」の声あり）

○武田教育長　　それでは、5月の定例の教育委員会につきましては、5月31日木曜日16時30分から市民会館小会議室で開催するという事で、詳細につきましては後日事務局よりお知らせ頂くとすることにします。以上で本日の会議を閉会いたします。お疲れ様でした。